平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名　株式会社 アドバネクス　　上場取引所　東
コード番号　5998　URL　http://www.advanex.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長兼社長　(氏名) 加藤　雄一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理本部長　(氏名) 大野　俊也　TEL 03-3822-5865

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,331	△20.6	115	△46.4	△1	―	△145	―
23年3月期第1四半期	7,974	18.6	216	―	141	―	164	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△312百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△185百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△3.67	―
23年3月期第1四半期	4.13	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	18,725	2,371	11.5
23年3月期	20,758	3,160	11.8

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　2,152百万円　23年3月期　2,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	0.00	0.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		―	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	△22.6	150	△61.8	50	△76.3	△150	―	△3.78
通期	26,000	△17.4	850	53.8	590	80.5	330	―	8.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) フジマイクロ株式会社

(注)詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	40,155,637 株	23年3月期	40,155,637 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	470,759 株	23年3月期	469,718 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	39,685,745 株	23年3月期1Q	39,697,696 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 ……3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
(4) 追加情報 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……5
４．四半期連結財務諸表等 ……6
(1) 四半期連結貸借対照表 ……6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書 ……8
四半期連結包括利益計算書 ……9
(3) 継続企業の前提に関する注記 ……10
(4) セグメント情報等 ……10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12
(6) 重要な後発事象 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け、生産活動が低下しました。当社が関連するＯＡ機器市場や自動車市場においては、震災による需要の減少やサプライチェーンの混乱により、顧客企業が減産を余儀なくされました。

こうした環境の中で、当社グループにおいては、国内及び海外でＯＡ機器向けや自動車向け等の販売が落ち込んだことから、精密ばね事業とプラスチック事業の売上が減少しました。また、ヒンジ事業においても、携帯電話向け事業の縮小を決定したことから、販売が減少しました。なお、モーター事業を行っていたフジマイクロ株式会社が当第１四半期連結累計期間から持分法適用関連会社に移行したことに伴い、前年同期に比べ売上高が大幅に減少しました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比20.6％減の63億31百万円となり、営業利益は前年同期比46.4％減の１億15百万円となりました。経常損益は、為替差損等の発生により１百万円の損失（前年同期は１億41百万円の利益）となり、子会社の異動に伴う持分変動損等の特別損失を計上したことから、四半期純損失は１億45百万円（同１億64百万円の純利益）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当第１四半期連結累計期間以降、モーター事業をセグメントから除外いたしました。

① 精密ばね事業

国内及びアジアにおいて、震災の影響からＯＡ機器向けや自動車向け等の売上高が減少しました。国内では、タブレット端末用部品等収益性の高い製品の構成比が増加したため、利益は増加しましたが、海外では、売上高の減少に加え、人件費等の増加から利益が減少しました。この結果、売上高は前年同期比4.7％減の33億43百万円、セグメント利益は同30.5％減の２億52百万円となりました。

② プラスチック事業

国内では、震災の影響等によりＯＡ機器向けや自動車向け製品等の売上高が減少したものの、収益性の高い製品へのシフトを進めたことから利益は横ばいとなりました。また、海外では中国において製品価格の値上げや原価の低減を図ったことから収益が改善しました。この結果、売上高は前年同期比11.4％減の24億17百万円となりましたが、セグメント利益は同141.6％増の89百万円となりました。

③ ヒンジ事業

ヒンジユニット販売は、４月に携帯電話向け事業の縮小を決定したことに伴い、売上高が減少しました。一方、不採算製品の生産を一部継続したため、損失は拡大しました。この結果、売上高は前年同期比19.0％減の５億70百万円、セグメント損失は前年同期より11百万円増加の２億30百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間末における総資産は187億25百万円と、前連結会計年度末に比べ20億33百万円減少しました。

内訳としては、流動資産の減少額が20億43百万円、有形固定資産の減少額が２億68百万円、無形固定資産の減少額が７百万円、投資その他の資産の増加額が２億86百万円となっております。

また、負債の部においては流動負債の減少額が10億34百万円、固定負債が２億10百万円減少しております。

これらは、当第１四半期連結累計期間において、連結子会社であったフジマイクロ株式会社が持分法適用関連会社へ異動したことにより変動したものであります。

純資産の部においては、純資産合計額が23億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ７億88百万円減少いたしました。

減少の主な内訳は、次のとおりであります。

当第１四半期連結累計期間において、１億45百万円の四半期純損失を計上したほか、円高の影響により、為替換算調整勘定が１億53百万円減少いたしました。また、連結子会社であったフジマイクロ株式会社が持分法適用関連会社へ異動したこと等により、少数株主持分が４億84百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の連結業績予想につきましては、平成23年５月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社の連結子会社であったフジマイクロ株式会社は、平成23年４月28日に、自己の保有していた株式売却をしたことにより、議決権比率28.24％となったため、持分法適用関連会社になりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

ヒンジ事業を行なっている連結子会社の株式会社ストロベリーコーポレーションは、前連結会計年度において営業損失９億56百万円、当期純損失17億72百万円を計上し、３億71百万円の債務超過となっております。今後は、不採算商品を中心に携帯電話向けヒンジ事業を縮小することを柱として収益性の改善を図ってまいりますが、平成24年３月期の業績予想においても、４億70百万円の当期純損失を計上する見込みであることから、同社は継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在するとともに、継続企業の前提に関し重要な不確実性が認められる状況にあります。

これにより、当社及び当社グループにも将来にわたって事業活動を継続する前提に重要な疑義を生じさせる状況（重要事象等）が存在しています。

しかしながら、当社は株式会社ストロベリーコーポレーションの事業縮小を織り込んだ事業計画の実行に対し資金的な支援を行うことを決め、ヒンジ事業の損失低減により連結業績の改善を図ってまいります。この支援を含めた資金繰り計画に対する金融機関の支援体制も得ており、当社及び当社グループの事業継続には重要な不確実性は存在していないと判断しております。

４．四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,497,971	2,073,458
受取手形及び売掛金	6,419,646	5,988,410
商品及び製品	968,935	876,517
仕掛品	779,733	575,952
原材料及び貯蔵品	1,759,523	1,100,084
繰延税金資産	182	215
その他	710,124	476,082
貸倒引当金	△45,215	△43,495
流動資産合計	13,090,901	11,047,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,800,453	1,675,958
機械装置及び運搬具（純額）	2,227,896	2,037,368
土地	2,119,503	2,152,921
その他（純額）	472,152	485,126
有形固定資産合計	6,620,006	6,351,375
無形固定資産		
その他	221,326	213,785
無形固定資産合計	221,326	213,785
投資その他の資産	826,688	1,113,138
固定資産合計	7,668,022	7,678,299
資産合計	20,758,923	18,725,525
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,597,170	4,389,186
短期借入金	3,957,030	3,438,287
1年内返済予定の長期借入金	2,399,215	2,421,856
未払法人税等	279,630	175,196
賞与引当金	113,468	173,814
その他	1,171,475	884,736
流動負債合計	12,517,991	11,483,078
固定負債		
長期借入金	2,700,975	2,591,820
繰延税金負債	335,795	331,668
退職給付引当金	1,495,361	1,487,822
役員退職慰労引当金	53,575	－
環境対策引当金	7,106	7,106
資産除去債務	39,206	39,215
その他	448,626	412,982
固定負債合計	5,080,646	4,870,616
負債合計	17,598,637	16,353,694

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,451,610	3,451,610
資本剰余金	2,571,319	2,571,040
利益剰余金	△1,768,202	△1,913,980
自己株式	△134,463	△134,272
株主資本合計	4,120,263	3,974,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	389	△1,940
為替換算調整勘定	△1,667,000	△1,820,104
その他の包括利益累計額合計	△1,666,610	△1,822,045
新株予約権	23,721	20,771
少数株主持分	682,910	198,706
純資産合計	3,160,285	2,371,830
負債純資産合計	20,758,923	18,725,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
売上高	7,974,794	6,331,116
売上原価	6,315,912	4,988,689
売上総利益	1,658,881	1,342,426
販売費及び一般管理費	1,442,808	1,226,621
営業利益	216,073	115,805
営業外収益		
受取利息	1,890	1,480
受取賃貸料	14,987	22,329
負ののれん償却額	31,475	－
その他	34,280	39,952
営業外収益合計	82,632	63,763
営業外費用		
支払利息	71,094	62,220
為替差損	63,816	82,578
その他	21,837	36,048
営業外費用合計	156,748	180,848
経常利益又は経常損失（△）	141,957	△1,279
特別利益		
固定資産売却益	4,829	1,815
子会社清算益	－	15,900
その他	1,729	3,410
特別利益合計	6,559	21,126
特別損失		
固定資産処分損	189	153
持分変動損失	－	85,375
訴訟関連損失	－	32,192
環境対策引当金繰入額	7,106	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14,062	－
その他	12,832	6,815
特別損失合計	34,191	124,537
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	114,325	△104,689
法人税、住民税及び事業税	48,675	45,327
法人税等調整額	125	3,050
法人税等合計	48,800	48,377
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	65,524	△153,067
少数株主損失（△）	△98,476	△7,289
四半期純利益又は四半期純損失（△）	164,001	△145,777

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	65,524	△153,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,228	△774
為替換算調整勘定	△230,475	△158,425
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△290
その他の包括利益合計	△250,704	△159,489
四半期包括利益	△185,179	△312,557
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80,873	△299,238
少数株主に係る四半期包括利益	△104,306	△13,319

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	モーター事業	ヒンジ事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,507,379	2,727,214	1,036,147	704,052	7,974,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,467	―	―	―	31,467
計	3,538,846	2,727,214	1,036,147	704,052	8,006,261
セグメント利益又はセグメント損失（△）	362,886	36,928	31,452	△219,051	212,215

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	212,215
その他の調整額	3,857
四半期連結損益計算書の営業利益	216,073

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	精密ばね事業	プラスチック事業	ヒンジ事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,343,404	2,417,321	570,390	6,331,116
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,087	458	―	21,545
計	3,364,491	2,417,779	570,390	6,352,661
セグメント利益又はセグメント損失（△）	252,294	89,210	△230,112	111,392

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	111,392
その他の調整額	4,412
四半期連結損益計算書の営業利益	115,805

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結累計期間から、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。前連結会計年度までは、精密ばね事業、プラスチック事業、モーター事業、ヒンジ事業で記載していましたが、主として、モーター事業を行っていた当社の子会社フジマイクロ株式会社が、平成23年４月28日に、自己の保有していた株式売却をしたことにより、当社の議決権比率が28.24％となったため、持分法適用関連会社になりました。その結果、当第１四半期連結累計期間から、報告セグメントとして記載する事業セグメントは、精密ばね事業、プラスチック事業、ヒンジ事業に変更しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

本日公表の「株式会社アドバネクスによる株式会社ストロベリーコーポレーションの株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は本日開催の取締役会において、当社を完全親会社として、株式会社ストロベリーコーポレーションを完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、本日株式交換契約を締結いたしました。本件の詳細につきましては、本日公表の別途開示資料をご覧下さい。